

## 人生の謎を解く (1)

### イントロダクション

#### はじめに

- (1) 人はどこから来て、どこに行こうとしているのか。
- (2) 歴史から学ばないなら、未来を切り開くことはできない。
  - ①過去から教訓を学ばない社会は、「記憶喪失症」になっている。
  - ②過去を覚えていない人もまた、「記憶喪失症」になっている。
- (3) 激動期に入った今、世界史の再検討が始まっている。
- (4) 個人的な証し
  - ①病弱の母がいつ死ぬのかと恐れた少年時代。
  - ②死について真剣に考えた学生時代。
  - ③クリスチャンになってからは、死への恐怖がなくなった。
- (5) 人類に始まりについて、聖書が何を教えているかを学ぶ。

#### 1. 一般的説明 (進化論)

- (1) 神の存在を考慮せずに、世界の起源について説明しようとするのが進化論である。
  - ①日本で受けた教育の中で、進化論以外の説明を聞いたことがなかった。
  - ②当然、進化論は真理だと思い込んでいた。
  - ③進化論は、私の知性だけでなく、感情面でも大きな影響を与えていた。
- (2) 進化論にはいくつかの致命的問題がある。
  - ①進化論はあくまでも仮説であって、証明された真理ではない。
    - \*進化論は、進化しつつある。
  - ②小進化は可能であっても、大進化は不可能である。
    - \*小進化とは、環境に適用した結果起こる小さな変化である。
    - \*大進化とは、「種」の壁を超えるほどの大きな変化である。
  - ③進化論ではすべてが偶然である。
    - \*そのため、人生に意味を求めること自体が無意味となる。

(3) 科学と聖書とは矛盾しない。

①矛盾しているように見えるのは、科学的説明と聖書解釈の間の矛盾である。

②聖書は、非科学的な書ではなく、超科学的な書である。

## 2. 聖書とは

(1) 聖書とは、啓示の書である。

①神は、人類に対してご自身を啓示された。

②神は、人類に対して救いの方法を啓示された。

③旧約聖書は39巻、新約聖書は27巻からなっている。

④旧約聖書、新約聖書の「約」は、契約を表している。

⑤神は、人類と契約を結ばれた。

(2) 基本的には以下の2点について教えている。

①神とはどういうお方か。

②人は、どうすれば神に近づくことができるか。

## 3. 創世記1、2章の説明

(1) 創世記1、2章には、世界の始まりについての記述がある。

①進化論とは対立する創造論の説明がある。

(2) 神についての啓示

①聖書の神は、創造主である。

②聖書の神は、絶対者である。

③聖書の神は、唯一（三位一体）である。

\*創1：26にある「われわれ」という主語が、三位一体を暗示している。

「神は仰せられた。『さあ人を造ろう。われわれのかたちとして、われわれに似せて。彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をはうすべてのものを支配するように』」

(3) 人についての啓示

①人は、創造の冠である。

②人は、「神のかたち」に創造されている。

\*精神的活動

\*良心

\*永遠（神）を思う心

(4) 創造の目的についての啓示

- ①人が全地に増え広がり、被造の世界を支配するように。
- ②人が神との交わりを通し、神を喜ぶように。
- ③人が神の栄光を表すように。

4. 神を体験する（詩 139 篇）

(1) この詩篇の作者は、ダビデである。

- ①作者は、神との親密な関係を保持していた。
- ②私たちも、この詩篇を通して神を体験することができる。

(2) 内容の解説

①すべてを知っておられる神との出会い（1～6 節）

- \*神は全知全能である。
- \*日本的「分業の神」とは、根本的に違う。

②ともにおられる神との出会い（7～12 節）

- \*神は遍在しておられるお方である。
- \*その神から逃れようとしても、それは不可能である。

③創造主なる神との出会い（13～16 節）

- \*私たちは両親から誕生した。
- \*しかし、究極的な創造主がおられる。
- \*自分が神の作品であることを知るの、喜びにつながる。

④信頼すべき神との出会い（17～24 節）

- \*人生には2つの道しかない。
- \*神に背を向けるか、神とともに歩むか。
- \*人は、信仰によって救われる。

まとめ

以下の質問に答えましょう。

- (1) 科学と聖書は矛盾するという意見に対して、どのように答えたらよいでしょうか。
- (2) 人は、「神のかたち」に造られたとありますが、人と動物の違いはなんでしょうか。

(3) 進化論の立場に立つのと、創造論の立場に立つのとでは、「人生の意味」についてどのように考え方が変わると思いますか。

(4) 詩 139 篇を何度も読み、次の質問に答えてください。

①神があなたのすべてをご存じだとすると、それは、あなたにとって喜ばしいことでしょうか。あるいは、恐ろしいことでしょうか。

②23、24 節を自分の祈りとして、声に出して読んでみましょう。どのように感じましたか。

**\*次回は、神に創造された人類が、どうして苦難に会うようになったのか学んでみましょう。**